

春フキ（促成栽培）の出荷が始まります

～シャキシャキの歯ごたえと香り～

全国一のフキ生産地である知多半島で2月7日（水）から、春フキ（品種は愛知早生ふき）の出荷が始まります。知多のフキは（知）（まる知）のフキとして関東・中京・関西の各地へ出荷され、全国で流通するフキの4割以上を占めています。

2月19日（月）には、生産農家が出荷規格を確認する「目ぞろえ会」も開催します。

伝統野菜「愛知早生ふき」

「愛知早生ふき」は今から200年ほど前、知多半島の加木屋村（現在の東海市加木屋町）で庄屋を代々つとめていた、早川平左衛門宅で自家用に栽培されていたものと言われていいます。明治時代に尾張地方に広がるとともに、関西にも広がりしました。現在、西日本で栽培されているフキのほとんどが、東海市で生まれた「愛知早生ふき」です。

長期にわたり出荷

フキは本来春の野菜で、野生で育つと4月ごろが収穫時期になります。知多半島では夏に一定期間冷蔵した根株を植えることで、秋に収穫を可能にした「秋フキ（抑制栽培）」とビニールハウスを使って保温することで、2月初めから収穫を可能にした「春フキ（促成栽培）」を組み合わせ、10月から翌年の5月末まで収穫を可能にしています。

<知多のフキの概要>

栽培地域：東海市、知多市、南知多町で

25.0ヘクタール（今年度）

出荷規模：JAあいち知多ふき部会 会員40戸

年間1289トン（今年度見込み）

収穫時期：10月～2月「秋フキ」 2月～5月「春フキ」



- 初出荷 日時 2月7日（水）10時30分～
場所 JAあいち知多 東海集荷センター（東海市大田町浜新田355）
- 目ぞろえ会 日時 2月19日（月）14時～
場所 JAあいち知多 西部総合営農センター（知多市三反田3-6-1）

<お問い合わせ先>

JAあいち知多 企画総務部 広報情報課（山内 直之）

TEL：0569-34-9952 FAX：0569-34-9963 E-mail：koho@agris.or.jp